

Clos Présent

クロ・プレザン



パリにて幼少期を過ごしたソフィーは、ブルターニュ地方、レンヌにて生物学学士を取得。ワインの道ではなく、生物により興味があり乗馬の指導員として、そして馬へのエチオパシー（フランス式整体術）の免許の取得を目指していたが、1998年にひどい落馬事故に遭い、馬に関わる仕事を諦めざるを得なかった。その後、営業職として働いていたが、自然と触れ合い屋外で労働をしたいという思いは常にあった。長年持ち続けていたワインへの情熱も重なり、ヴィニュロンを目指すことを決心する。

2019年からロワール地方のアンボワーズ1年間通い、コンプレモンテールなどでも研修を行った。同年にコルビエールでの収穫に参加した際、この土地に惚れ込んでしまい、年末には移住を決意。「50歳からのワインへの挑戦さ！」と意気込む彼女の言葉は力強く、一年を通じて3.45haの畑をほぼ一人で作業している。

ビオロジック栽培でトラクターをいれず手作業で畑を管理しているため、畑の耕作はしていない。「私は長期のマセレーションが好きなので、ヴィエイユ・ヴィーニュにおいては葡萄が持つすべての複雑さを引き出す為に、最低でも4週間行います。長期熟成も可能なワインが出来ると考えており、シスト土壌と多くのミネラル豊富なこのテロワールを見つけられて幸せです。私の仕事はこの豊さを尊重する事にあります。」と話す。彼女のワインは丁寧な醸造を感じさせる滑らかなタンニン、シスト土壌由来の清涼感を持ち合わせている。

●VdF - Paradisia パラディシア				
	<p>煙</p> <p>品種：カリニャン、サンソー 植樹：1960年 位置：標高150m、南～南東向き 土壌：シスト</p>	<p>醸造</p> <p>マセレーションなし ステンレスタンクで醗酵 ステンレスタンクで半年熟成</p>	<p>備考</p> <p>造り手のソフィーにとっての、楽園（=Paradise）である、コルビエール地域へのオマージュ。サンソーは高い酸を残すために、アルコール度数12度前後のタイミングで収穫し、カリニャンも赤ワイン醸造よりも早めに収穫する。</p>	
●VdF - Kansha カンシャ				
	<p>煙</p> <p>品種：ルドネール・ブリュ、シラー、カリニャン、グルナツシュ 植樹：1947年～1980年 位置：標高150m～200m 複数の向きの斜面 土壌：シスト</p>	<p>醸造</p> <p>ステンレスタンクで4週間マセレーション ステンレスタンクで1年間のエルヴァージュ熟成</p>	<p>備考</p> <p>キュベ名は読んで字のごとく日本語の感謝に由来する。ルドネール・ブリュ=ガルナツチャ・ペルーダ。葉に少し毛が生えている（=ペルーダ）グルナツシュの亜種で、フランスでもスペイン寄りの地域で栽培される。</p>	
●VdF - Satori サトリ				
	<p>煙</p> <p>品種：シラー、カリニャン、グルナツシュ 植樹：1960年～1980年 位置：150m、北西および東向き 土壌：シスト</p>	<p>醸造</p> <p>カリニャンは10日間のカーボニック・マセレーション グルナツシュとシラーは除梗をして4週間のマセレーション ステンレスタンクで醗酵 ステンレスタンクで9か月間熟成</p>	<p>備考</p> <p>キュベ名は読んで字のごとく日本語の“悟り”に由来する。</p>	
●VdF - Cariatide カリアティード				
	<p>煙</p> <p>品種：カリニャン100% 植樹：1947年 位置：標高150m、南西向き 土壌：シスト</p>	<p>醸造</p> <p>4週間のマセレーション ステンレスタンクで醗酵 ステンレスタンクで12か月間熟成</p>	<p>備考</p> <p>カリアティードとは古代建築などにみられる、柱の代わりとなり構造物を支える女性像のこと。</p>	
●VdF - Arietis アリエティス				
	<p>煙</p> <p>品種：シラー70%、サンソー30% 植樹：1960年～1980年 位置：標高100m、北西および東向き 土壌：シスト</p>	<p>醸造</p> <p>5週間のマセレーション ステンレスタンクで醗酵 樽で22か月間熟成</p>	<p>備考</p> <p>アリエティスはおひつじ座α星（主要な星）の学名。この星座は黄道十二宮におけるソフィーの生まれの星座でもある。占星術に傾倒していたソフィーの父へのオマージュとして、キュヴェ名に採用した。</p>	